

令和元年度 岡津小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針

「つなぐ」 ＝ ” 自らの成長を自覚し、適切に行動できる 岡津っ子”

① 教材と児童、児童と児童、児童の過去・現在・未来 ②学校、家庭、地域

「知」 一人ひとりが学ぶ楽しさと創り出す喜びを通じて自分の学びを大切にし、自主的に学び続ける子を育てます。

「体」 心と体の健康を大切にし、自分や人の生命を大切にする子を育てます。

「徳」 他者を思いやり、規律を守って集団行動をしながら互いのよさを認め合う子を育てます。

「公」 地域の人との関わりを通じて地域社会の活動を大切にしようとする子を育てます。

「開」 様々な人とのコミュニケーションを通して自然や社会に目を向ける子を育てます。

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①あいさつするよさに気づき、自ら進んであいさつができる習慣を身に付けるように継続的に行っていく。
担当 児童支援部	②ペア学年（1・6年、2・5年・3・4年）での活動を年間を通して行い、異学年同士のつながりを築き、それぞれの学年の立場を生かした活動を進めていく。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

子ども達は、素直でまじめな子どもが多く、明るく前向きで、ルールやきまりを守ろうと頑張ることができる。しかし、自分から進んで行動することが苦手であり、周りを見て判断することができず、行動が幼く短絡的などところがある。また、表現力が乏しく考える力が弱いところがある。

「豊かな心の育成」に関する具体的な取り組み

- ・一人ひとりの自尊感情を高めるために、確かな学力を身につけさせる。
- ・各学年（低・中・高）ごとの「育ちの目標」（望ましい姿）を立てる。
- ・縦割り活動の充実を図り、異年齢集団活動を通し、思いやりの心や協力する心を育てる。
- ・年間計画に沿った、全学級の道徳の授業を充実させる。

体験活動の充実

- ・縦割り活動（なかよし活動）など異年齢活動を充実させる。
- 6年生が自己有用感をもてるように、1年生とのかかわりを深める。（「あんな高学年になりたい」という気持ちをもたせる。感謝の気持ちをもてる。）
- ・朝会・集会・委員会活動・なかよし活動などの異年齢集団活動をより自主的・意欲的に行えるようにする
 - ・知識的側面・態度的側面・技能的側面が育つような授業を行うことを通して、子どもの自尊感情を育て、自分と他者を大切にしようとする意識を育てる。
 - ・Y-P アセスメントを実施し、学級課題の改善や子ども個人の課題の改善に向けて、校内の指導体制を整え、「誰もが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土作りにむけた協働ができる。
 - ・特別な支援が必要な子どもについて、個別の教育支援計画や個別の指導計画を立て、すべての教職員がかかわりながら、それぞれの子どものに合った指導を行う。